

# 新井中央小だより

No. 295

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>メールアドレス [chuou@ac.city.myoko.niigata.jp](mailto:chuou@ac.city.myoko.niigata.jp)

2024（令和6）年6月14日

## ほんもの教育と豊かな体験活動の効果～さくらフェスティバル～

「地域の『人、もの、こと』とともに かがやくさくらっ子をめざして」をテーマに、6月8日（土）、「さくらフェスティバル」を、実施しました。たくさんの保護者・地域の皆様からご参観いただき、ありがとうございました。4月にスタートした各学年の生活科、総合的な学習の時間の活動の成果とともに、学習の過程を



ていただきました。年度の早い時期に実施したのは、意見をいただきながら今後の活動をさらに充実させること、保護者・地域の皆様に今後の活動に興味・関心をもっていただき、お子さんの成長を観ていただくことをねらいとしているからです。フェスティバルでは、学校のリーダーとして活躍している6年生の音楽演奏も鑑賞いただきました。大勢の地域の皆様から聴いていただき、6年生も励みになったと思います。

さて、今回は、学習の終了後に「きらり発見ディスカッション」と題し、コミュニティ・スクールの委員や学習の講師の皆様と職員で、子どもたちの学びについて、教育活動の成果や課題について意見交換し、教育の質の向上を目指しました。年度はじめにも一堂に会し委員の皆様から御指導をいただいています。このように地域の皆様と熟議する中で、社会に開かれた教育課程の編成につながっていると感謝しております。各学年の内容は、裏面をご覧ください。



全ての学年の学習活動で大切にしていることは、ほんもの教育と豊かな体験活動の実施です。コロナ禍で、この数年間子どもたちにとってほんものにふれる機会や体験活動の場が減少しており、そのことが成長に影響を与えていることは否めません。

ほんもの教育の「ほんもの」とは、地域社会にある価値あるまたは質の高い伝統や文化、芸術、スポーツ、経済活動、福祉、勤労奉仕などの社会事象、そして自然事象です。また地域の人もほんものとしてふれさせたい事象です。人とふれあうことで、その方の生き方にもふれ、子どもたちのキャリア教育につながります。教育効果として、ほんものにふれることで、子どもたちは感動します。感動すると感性が豊かになります。人に対するあこがれの念をいただき、自分なりの夢や希望をもちます。豊かな感性や夢や目標は、学ぶ意欲を高め、さらなる成長につながります。



また、体験活動も経年的な調査で、その効果が明らかになっています。「小学校の頃に体験活動をよくしていると、その後の成長により影響を与える」と文科省から報告されています。体験を多くすることによる影響を自然体験（キャンプ、登山、川遊び、ウインタースポーツなど）、社会体験（農業体験、職業体験、ボランティア）、文化的体験（動植物園・博物館・美術館見学、音楽・演劇鑑賞、スポーツ観戦など）に分けて分析したところ、自然体験では主に自尊感情や外向性、社会体験では小・中・高校生の時期の向学校的な意識（勉強・授業が楽しい）、文化的体験は全ての意識（向学校的な意識、自尊感情、外向性、精神的回復力）

に良い影響が見られることが分かりました。\*文部科学省(2020)：「体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト」報告書より

子どもたちのために学校で、ほんもの教育、豊かな体験活動を積極的に取り入れていきます。さらに効果があるのは、社会全体で取り組むことです。全ての子どもたちが置かれている環境に左右されることなく、体験の機会を十分に得られるように、みなさんと力を合わせて「多様な体験を土台とした子どもの成長を支える環境づくり」を進めていくことが重要です。

学校教育（PTA活動も含む）、地域などで行う社会教育、ご家庭で行う家庭教育が連携・協働し、質の高い教育を提供することで子どもが健やかに育つと思います。そのような意味で、今回のさくらフェスティバルがそのきっかけとなればと思っています。

（文責 校長 小林朋広）